

第5回(2007年度)まちづくりに関する提案
「桜島における国際的スポーツ・文化イベントの開催」

= アピールポイント等 =

「桜島」は世界一を標榜する多くの特性を有していますが、少子高齢化や過疎化が進行し、経済・文化・社会面の活性化が必要とされます。

このために私たちは、「桜島」のもつ「世界一」に視点を置き、多くの集客（交流人口の増大）と情報発信につながるイベントを検討しました。

冠は「国際」。

「桜島」という地の利を生かし、世界一の感動を共有、夢に終わらず実現度の高い内容をもつイベントに絞り込みました。

世界に羽ばたく「桜島」の形成を願って提案するものです。

以上

第5回(2007年度)まちづくりに関する提案

「桜島における国際的スポーツ・文化イベントの開催」

平成19年9月30日

第5回(2007年度)まちづくりに関する提案 「桜島における国際的スポーツ・文化イベントの開催」

マーケティング研究会(鹿児島市)

[] 桜島が誇る「世界一」の特性

「桜島」は60万都市鹿児島市から4kmという指呼の間にある活火山で、錦江湾(鹿児島湾)に浮かぶ姿はまさに世界一の景観といえます。

同時に桜島大根をはじめ以下の特性を有しています。

- 1) 「世界一大きい桜島大根」(2003年にギネス認定:重さ31.3kg)
- 2) 「世界一小さな桜島小みかん」の産地。
- 3) 1本の木が実をつける「みかんの個数世界一」(ギネス申請:24,649個)
- 4) 世界一の流出量といわれる溶岩原(文明、安永、大正、昭和の溶岩原4層)



世界一の桜島大根

[] 桜島の特性を生かしたまちづくりの方策

桜島地域の人口は5,029人(2007年3月)で、鹿児島市の0.8%を占めていますが、高齢化と少子化により過疎化が進んでいます。

私たちは、「桜島」の経済・文化・社会面の活性化を図るために、「桜島」の特性を生かした12のまちづくり方策を考えました。

この中から下記「桜島一周国際マラソン(ランニング)大会」と「桜島国際モトクロス大会」、「桜島国際レーザーショー」の3つについてその概要をまとめます。

[] 「桜島における国際的スポーツ・文化イベントの開催」

「桜島」が有する世界的な特性をもとに、「桜島」の活性化につながるイベント等は多様なものが考えられますが、これを実現度や地域波及効果という視点で整理、以下の3つに関し具体的内容を絞り込みます。

【その1】・・・「桜島一周国際マラソン(ランニング)大会」 (イベント等の概要)

世界一の流出量といわれる溶岩原や松林、海岸、眺める方角によって厳しさや流麗さを示す桜島を眺めながら家族や団体、グループ等でランニングを行う。

開催時期は秋でも冬でも春でも選ばない。

沿道には季節の果実が実り、野菜も茂る。マラソンも競走の一つであるから着順は競うが、何よりも完走を主眼とするスポーツイベントとしたい。

国内はもとより、世界からランニング愛好者を募り、



世界一の景観と自負する桜島でこれを楽しむことを目的とする。

種目は、フルマラソン、ハーフマラソン、10km、5km、3kmなど。対象も子ども、若者、中年、高齢者等夫々の階層で楽しめるものとする。

〔桜島一周国際マラソン大会開催の趣旨目的〕

イベント開催による交流人口の拡大及び特産品販売、宿泊利用等の経済効果
二車線以上の桜島一周道路の整備
国内・世界に向けての「桜島」情報の発信

〔経済等の効果〕

当初、桜島一周国際マラソン大会に2,000人を集めることができたら観衆や関係者合わせて5,000人弱（桜島地区の人口と同じ）となり、大きな経済効果も期待できる。加えて、桜島の特産品販売や通販等による息の長いマーケティングも展開できる。

〔道路等のインフラ整備〕

桜島の一周距離は約55kmであるが、東側の道路は未だ一部一車線の所があり、このようなイベントが展開できない状況にある。従って、生活道路としてはもとより、国際的なイベント展開のためにも道路拡幅等の整備が必要とされ、社会インフラの整備上の効果も期待できる。

【その2】・・・「桜島国際モトクロス大会」

〔イベント等の概要〕

モトクロスとは、モーターサイクルによるクロスカントリー、つまり未舗装の周回コースでスピードを争う二輪レース。モトクロスのコースは通常、丘陵などの不整地に設けられているので、起伏に富んだ自然の地形を生かした勾配や、ジャンプ台などの人工的セクションが勝負どころ、見どころ。桜島にある広大な溶岩跡地はコース整備に最適である。

世界からライダーや観客を集め、有村溶岩跡地等を整備して大会を開催する。

〔桜島国際モトクロス大会開催の趣旨目的〕

イベント開催による交流人口の拡大及び
特産品販売、宿泊利用等の経済効果
二車線以上の桜島一周道路の整備
国内・世界に向けての「桜島」情報の発信

〔経済等の効果〕

階級として250cc、125cc、80ccがありそれぞれに、国際B級、同A級、ノービス等のクラスがある。

各大会1万人から2万人の有料入場者があり、シリーズ最終戦や世界グランプリ等の大会では、5万人以上の観客を集めることもある。

当初、上記の1/10の2,000人を集めることができたら桜島一周国際ランニング大会と同規模の経済効果が期待でき、桜島の特産品販売や通販等による息の長いマーケティングも展開できる。



〔道路等のインフラ整備〕

桜島の東部にある有村溶岩原をモトクロス会場用に整備する必要がある。また、一度に多人数をさばくための周回道路の2車線化のインフラ整備も必要。

【その3】…「桜島国際レーザーショー」

〔イベント等の概要〕

レ - ザ - 光線ショ - は、次の時代の文化の先駆けを目指している。

地域の人々や障害者、子どもから年輩の人まで数多くの人々に見てもらい、同じ感動を共有してもらいたい。

具体的には、桜島をステ - ジとし、スモークでスクリーンを造り、最新の技術を駆使した音と光のパフォーマンスを行なう。

スモークマシンで煙を焚き、観客の頭上にレーザー光線をビーム上に放出、ミラーで反射させクモの巣状やグリッド状に光の筋（ビーム）を構成する。

上記イベントに世界冠を付け、世界からアーティストを招聘して技を競ってもらおう。



〔桜島国際レーザーショー開催の趣旨目的〕

文化の先駆けとなるレーザーショーの育成（定期的なイベントの開催）

イベント開催による交流人口の拡大及び特産品販売、宿泊利用等の経済効果

国内・世界に向けての「桜島」情報の発信

〔経済等の効果〕

2004年8月に鹿児島出身のアーティスト長瀬 剛が「オールナイトイン桜島」を開催し、約70,000人の観客を動員した。これは長瀬の個人的魅力によるものが大きいといえるが、当イベントでも5,000人規模の動員は達成したい。

前夜祭やイベント開催後のエクスカッション、桜島情報の発信等効果は多大。

〔道路等のインフラ整備〕

会場は桜島袴腰近くのイベント会場に置くが、一度に多くの観光客をさばくための周回道路の2車線化のインフラ整備も必要。

〔 〕「2車線以上の桜島一周道路整備や観光案内板の電子化による多国語対応等のインフラ整備」

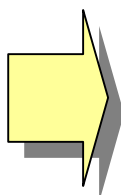
「桜島国際マラソン」ではコースとして実際に利用し、「桜島国際モトクロス大会」や「桜島国際レーザーショー」では多人数の観客（観光客）をさばくために2車線以上の一周道路を整備することが不可欠といえます。

また、世界（国際）冠に相応しい世界の観光地を形成するために、光ファイバー等インターネット環境整備を促進し、観光案内板の電子化を図り、英語・中国語・韓国語等多国語に対応できる環境整備が必要とされます。

当企画は、イベント開催等による「桜島」の多面的活性化とその基盤としての道路やIT環境整備を願って提案するものです。



<1車線>



<2車線+歩道>

以上